

令和5年度 第2回富里市図書館協議会 会議録

とみらいテラス(富里市立図書館)

- 1 期 日 令和6年3月19日(火)
開会 午後3時00分
閉会 午後4時20分
- 2 場 所 富里市立図書館研修会議室3
- 3 出席委員 会 長 山 本 典 孝
副 会 長 高 橋 正 名
委 員 水 野 華 蓮
委 員 塚 本 さ と み
委 員 三 浦 光 子
委 員 渡 邊 義 幸
委 員 長 谷 円
- 4 出席職員 教 育 長 吉 野 光 好
図 書 館 長 吉 林 昌 寿
図 書 館 武 藤 弘 之
図 書 館 並 木 義 昭

令和6年 3 月27日

署名人 三浦 光子

署名人 渡邊 義幸

1 開会

【事務局】令和5年度第2回富里市図書館協議会を開会する。

2 あいさつ

【教育長】あいさつ

3 議事録署名人の指名

三浦光子委員と渡邊義幸委員が指名された。

4 協議事項

【会 長】(1)の令和6年度とみさと教育プラン（案）について説明願いたい。

【事務局】配布資料に基づき説明を行う。

【会 長】質問や意見があればお願いします。

【委 員】資料3ページの学校図書室等への支援のなかで、貸出団体数、貸出冊数が令和5年度は貸出団体数が170件、貸出冊数が8,400件だったものが、令和6年度は貸出団体数が150件、貸出冊数が7,000件に目標値を下げた理由は何ですか。

【事務局】令和4年度より各小学校へのよむよむ便、中学校定期便に加え、図書館資料活用便を増やしたところですが、受け入れる側の学校側の負担もあることから、令和5年度の途中から活用便については申し出のあったところへの貸出に変更したことと、調べ学習用の団体貸出や学童便などの申し込みによる貸し出しなど、コロナ過の影響を引きずっているのか貸出数が減っていることから、目標値についても見直しを行い、前年度よりも低い設定となりました。

【委 員】資料2ページの②図書館（とみらいテラス）事業の充実、情報・芸術・文化の発信拠点づくりのなかで、最後のほうで利用者層の拡大を図るとあるが、若年層なのかそれとも30代、40代なのか、どのあたりの利用促進の作戦とかあるのかを聞かせてもらいたい。

【事務局】利用者層でございますが、平日に当館に来ていただくとわかると思いますが、年配者が中心で若者にも来ていただけるような施設になってほしいなと考えております。具体的に申しますと、特徴のある図書館を作っていきたいと思っており、お子様が好きそうなものをピックアップし書籍、展示を行っていきたい。その中で最近、成田空港株式会社さんに協力の依頼をさせていただきまして、飛行機だけではなく空港に関わる様々な企業との懸け橋になっていただき、空港に隣接している図書

館としての特徴を持たせ、学校関係や若年層に将来の夢を持たせられたらいいなどの動き出しをしているところです。なので、利用者層というのは若年層に向けてということです。

【委員】資料1 ページ目に電子書籍についても導入の検討を進めていくとありますが、大変期待をさせてしまいますが、現実的には何かあるのですか。

【事務局】電子書籍につきましては、県もそうですが近隣はほぼ導入していて普及が進んでいる状況です。使い方としては、学校でのタブレットを活用した道具としても使えますし、障害者向けのサービスにもつながる機能も有していますので、導入をさせていただきたいと思っております。庁内におけるDX計画や政策実行計画には載せているのですが、採択されない状況で、現在、調整状況です。

【委員】近隣でも、成田市さんや八街市さんは導入していますし、県内でも20館以上が導入しています。コロナの交付金が出たときに、導入したところが多かったようですが、今現在はそれが使えるのかどうかは不透明ですが、中途半端に導入しても利用が伸びないと思うので、よくよく検討いただければと思います。

【会長】他に質問等がないようであれば、次の協議事項に移ります。

【会長】(2)の令和6年度富里市立図書館蔵書計画(案)について説明願いたい。

【事務局】配布資料に基づき説明を行う。

【会長】質問や意見があればお願いします。

【委員】社会福祉協議会ではボランティアグループが声の広報を図書館にお持ちしていますが、以前に実績がないと伺ったが現在はどうでしょう。

【事務局】少ないですが、若干利用者はいます。

【委員】資料購入費が今年度は500万円、来年度は600万円となっていて、図書館の蔵書数は20万冊となっていて評価についてはどうなのか。

あと貸出冊数が減っているが借りている人の冊数が減っているのか、単に貸出者数が減っているのかについて、どう向き合っているのか。

【事務局】図書館の蔵書数20万冊に評価については、情報としてみるとかなり古くなっているところです。また、汚損、破損の部分もかなりあります。例えば、医学書であれば20年前の本と現在の本では違ってきていることがあると思うので、利用者としては最新の情報を知りたいと考えますので、鮮度を保たなければならない。そうでなければ利用

者は増えていかない。というところで、できるだけ入替をして鮮度を保っていく必要があります。貸出数を増やす手立てですが、図書館の複合化により今まで図書館の未利用者の方がギャラリーに来館された際に、ついでに図書館を利用してみようかという繋がりができればと複合化を始めたものであり、今現在進行している状況です。

【委員】500万円というのは蔵書の鮮度を維持するためで、ニーズに合わせるのには厳しいということですよ。20万冊はあるんだけど、それだけではないということですよ。

【事務局】表に出ている図書は借りやすいのですが、閉架図書にしまっている8万冊位は目に触れられる部分ではないので、なるべく目に触れさせようと閉架図書についても展示コーナーを設け、利用促進に努めています。

【委員】資料11ページで一人当たりの図書費は低いですが、年間受入冊数が高いレベルにあるのはなぜか。要因としては寄贈が多いのか、単価の安い本を購入しているのか。あと、資料6ページの蔵書の内訳で1分類の哲学と3分類の社会科学が前年比かなり減っている。9分類の文学がとても多い。図書館で生活に必要な情報を提供したり、市民の学びを援助するとの目標からすると果たしてそれでよいのか。

【事務局】購入冊数については、約3,000冊程度で、全体の受入れ冊数では5,000冊数で、4年度は寄贈の受入れを多く行った結果と単行本のリクエストについて、文庫本での提供が可能かなどひと手間ありますが、厳選して資料費の活用を図りました。寄贈の受入れにつきましては、自館で1冊ごとに装備する手間があるのと寄贈していただいた資料の状態の条件もありますので、毎年、同様の対応ができるのかといわれると難しい部分もありますが、様々な資源の活用を務めてまいります。

資料の購入につきましては、幅広い分野をまんべんなく収集することで、全体的な書架の鮮度を保つことで各分野の利用促進につながるものですが、利用者様のリクエストに応じて行くなかで、蔵書構成に偏りが見えてきていますので、注意しながら購入を進めていきたいと思えます。

【委員】郷土資料の受入状況、どんな資料を収集しているのか。富里の歴史、文化を継承するための図書館資料の収集、保存は大切だが、館長はどう考えるか。

【事務局】富里の歴史、文化を継承するための図書館資料の収集、保存は大切と認識しています。当館は2階に郷土展示室もありますので、そちらと連携して郷土資料の利活用を目指していきたい。

【会 長】他に質問等がないようであれば、次の報告事項に移ります。

5 報告事項

【会 長】(1)の富里市立図書館複合化の利用状況等について説明願いたい。

【事務局】配布資料に基づき説明を行う。

【会 長】質問や意見があればお願いします。

【委 員】質疑なし

6 その他

【会 長】その他について説明願いたい。

【事務局】配布資料に基づき、高橋正名委員が令和5年度富里市表彰式で功労表彰をされたことの報告を行う。

【一 同】拍手

【委 員】2007年から16年間協議会にお世話になりまして、当日は山本会長、もりのなかの三浦さんにもご臨席をいただきましてありがとうございました。今後も、貢献できることがあればしていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

【一 同】拍手

【事務局】令和6年4月より政党が発行している新聞の受入れを開始することになりました。資料収集に係る基本方針に照らし合わせお断りできないということで、寄贈していただけるものにつきまして、配架することになりました。

【会 長】以上ですべての議事が終了となりましたので、議長の任を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。

7 閉会

【事務局】令和5年度第2回富里市図書館協議会を閉会する。